

平成22年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	和合地区特産物生産拡大事業
事業主体 (連絡先)	和合むら 0260-24-2764
事業区分	(8) その他地域の元気を生み出す地域づくりに資する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	542,012 円 (うち支援金: 542,012 円) 542,000

事業内容

・遊休農地の活用 トラクターで農作業2名耕作385㎡
 ・5月23日 こんにやく種芋100kgの植付作業7名
 ・10月29日 こんにやく芋の収穫140kg,作業6名
 ・特産物加工作業 さしみこんにやくの製造合計2,433
 製造日、参加数、11月5日、5名・12月3日、5名・1
 月12日6名・2月10日、6名・2月28日、4名・計5
 ・特産物直売、販売品目(さしみこんにやく・五平餅・
 あまご・椎茸・雑キノコ類・辛子みそ・黒うどん・等)
 直売日、場所、参加数、4月4日浜松6名・8月8日阿
 智5名・9月19日愛知5名・10月24日阿南町5名・
 11月12日神奈川1名・11月27日愛知6名。
 ・椎茸原木500本に種駒打ち、3月26日、作業6名
 ・販売促進活動、顧客にチラシ、パンフレットの発送。



【遊休農地・蒟蒻の植え付け作業】

自己評価 (事業実施率) 【 A 】

事業効果

・遊休農地を活用してこんにやくの生産を高めた、収
 量140kg、特産物のこんにやくを加工品にして県
 内外に直売や販売促進を実施した。
 ・特産物(椎茸、蒟蒻、山菜、アマゴ、等)の販売活
 動を行ったことで消費の実情が調査できた。
 ・地域の農産物を受け入れることで生産者の収入源がで
 きた。
 ・特産物の加工品を販売することで事業費(1,020千)
 の93%売上達成できました。

【目標・ねらい】

- 遊休農地の荒廃防止
- 伝統的な特産物の生産と活用
- 地域と高齢者の生甲斐
- 地域のPR

自己評価 (目標達成率) 【 A 】

今後の取り組み

特産物の生産量を高める、そのためには、遊休農地の地質の管理を実施する。
 特産物の商品開発の実現を目指す。(目標:1件)
 地域の雇用と交流の場を充実させたい。そのために生産物の取扱を増加する。
 各地での直売会を増やしたい。【静岡、愛知を計画中】

※自己評価欄は「A」90%以上「B」70~89%「C」50~69%「D」49%以下で示すこと。

122
お